

# 防府山の会 9月例会 木曾駒ヶ岳～空木岳縦走山行報告書

2019.10.2

- ◇日 程 2019年9月25日(水)～9月29日(日)
- ◇山行形態 前日登山口近辺宿泊、山小屋2泊、下山後民宿1泊
- ◇交通機関 レンタカー(アルファード8人乗り) 駅レンタカー防府営業所 Tel:0835-38-2950
- ◇参加人員 6名
- ◇会 費 5万6千円程度(交通費+宿泊費、昼食代は含まず)
- ◇アプローチ

〈行き〉

9月25日(水) 駅レンタカー防府営業所 8:00 集合

駅レンタカー防府営業所——防府東 IC——福山西 SA—— 白鳥 PA——黒丸 PA  
8:05 8:15 10:22^10:35 12:35^12:45 15:23^15:33  
——駒ヶ根 IC ——駒ヶ根ユースホテル(宿泊)  
17:55 18:10

9月26日(木)

駒ヶ根ユースホテル…駒ヶ池バス亭——しらび平ロープウェイ駅～～千畳敷駅  
5:40 6:11 6:50^7:00 7:10

〈帰り〉

9月29日(日)

民宿「天山」駐車場——駒ヶ根 IC——福山西 SA  
9:00 9:10 14:38^14:50  
——宮島 SA——防府東 IC——駅前レンタカー防府営業所  
16:10^16:20 17:30 17:45

◇コースタイム

- 9月26日(木) 千畳敷(7:19)…乗越浄土(8:20)…宝剣山荘(8:30)…木曾駒ヶ岳(9:38)  
…宝剣山荘(10:55)
- 9月27日(金) 宝剣山荘(6:30)…宝剣岳(6:47)…極楽平(7:45)…檜尾岳(10:14)…熊沢岳(12:14)  
…東川岳(14:05)…木曾殿山荘(14:40)
- 9月28日(土) 木曾殿山荘(7:00)…空木岳(8:50)…分岐点(9:45)…大地獄(10:55)…池山小屋  
…分岐(11:55)…池山林道終点(12:55)…駒ヶ根高原(14:05)…民宿天山(14:30)

- ◇個人装備 スパッツ、サングラス、防寒着、雨具、ヘルメット、保険証、サブザック、手袋、  
ストック、携帯電話、予備電源、地図、コンパス、タオル、行動食(昼3日分)、着替え

◇宿泊

9月25日	駒ヶ根ユースホテル	TEL0265-83-3856	素泊まり ¥3,564-
9月26日	宝剣山荘	TEL090-7804-2185	1泊2食¥9,500-
9月27日	木曾殿山荘	現地 TEL090-5638-8193	1泊2食¥9,000-
9月28日	民宿「天山」	TEL 0265-83-4610	1泊2食¥6,800-(税別)

◇山行記録

9月25日(水) 晴れ 駒ヶ根ユースホテル泊

午前7時40分、Tさん、Yさん、Mさん、Uの四人がU農園に集合、相乗りして、駅レンタカー防府営業所に。Kさん、Mさん合わせて6名で、トヨタアルファード(8人乗り)に乗車。防府東 IC～福山西 SA、途中播磨 JCT 手前から工事渋滞にかかる、白鳥 PA～黒丸 PA～小牧 JCT から中央自動車道に入り、駒ヶ根 IC を出て、無事駒ヶ根ユースホテルに到着(素泊まり)。チェックインを済ませ、近くのコンビニで、夕食及ぶ翌日の朝食等を購入。当ユースホテルは、二人で切り盛りされていて食事の提供はなし、その分格安。

9月26日(木) 晴れ 木曾駒ヶ岳(2956.1m)～宝剣岳(2931m)～宝剣山荘泊

駒ヶ根ユースホテル午前5時起床、前日コンビニで買っておいた朝食を食べ、昨夜確認しておいた、空木

岳池山登山口の駒ヶ根高原スキー場駐車場に車を止めた。身支度を整え徒歩で駒ヶ池バス亭まで下り、6時11発の中央アルプス観光バスに乗車、細い車道を暫く走ると、こぢんまりとした駒ヶ根ロープウェイしらび平駅着、ここは標高1662m。暫く待ち始発臨時便のロープウェイで、あっという間に標高2612mの千畳敷駅へ。駅を出れば目の前に千畳敷カールが広がり、視線を上げれば、真っ青な空をバックに宝剣岳(2931m)が輝いていた！千畳敷から周りの景色を堪能しながらカールを登り、8時20分乗越浄土から、宝剣山荘を望む。宝剣山荘から1時間も歩けば木曾駒ヶ岳(2956.1m)山頂。日本百名山の木曾駒ヶ岳山頂は広く、大勢の登山者で溢れていた。山頂からは独立峰の御嶽山、遠く北アルプスの槍ヶ岳・穂高連峰、八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、南アルプスの北岳、間ノ岳、農鳥岳、富士山、塩見岳、悪沢岳、荒川岳、赤石岳等々。素晴らしい大展望を堪能した後は、中岳を巻いて戻り 宝剣山荘 10時55分着。チェックインまで相当に時間があることから、伊那前岳(2883.6m)を往復。それに、明日の空木岳への縦走に備えて、全員で宝剣岳(2931m)にも登ってきた。夕食は17時から1階の大食堂、2階の個室には何と羽毛布団、快適に眠れた。

9月27日(金) 晴れ 宝剣岳(2931m)～木曾殿山荘泊

宝剣山荘 AM5時起床、ヘッドライトを点け、防寒対策の雨具を着て、前日に確認しておいた宝剣岳途中の展望台まで登る。5時36分頃から始まった、数分間の、感動的で美しい日の出を見て小屋に戻った。6時から朝食、6時半小屋前で入念に準備運動をし、これからの長い縦走に気を引き締めた。宝剣山荘前から宝剣岳までは岩場の連続だが、昨日登っている為気持ちに余裕がある、が、宝剣岳からの下りは気が抜けない。所々に鎖が設置してあるスリリングな岩場を過ぎ、極楽平に着いてようやく一息を入れた。その後、檜尾岳(2728m)～熊沢岳(2778m)～東川岳(2671m)と歩を進める。何度もアップダウンを繰り返すが、素晴らしい大展望を満喫しながら、天空の稜線散歩と爽やかな風に吹かれ、時に幸せな気分になる。宝剣山荘を出発してから8時間あまり、かなりヨレヨレになってきた頃、14時40分木曾殿越(コル)にある木曾殿山荘に到着した。残念ながら、徒歩8分にあるらしい「木曾義仲の力水」は枯れているとのこと。夕食は17時から1階の食堂で、尚、食事中小屋主から、空木岳登山の注意点などを、丁寧に話されたのがとても有意義に思った。消灯が20時前には真っ暗…

9月28日(土) 晴れ 木曾殿山荘～空木岳(2864m)～民宿「天山」泊

木曾殿山荘 AM4時半起床、5時から朝食、準備運動をして5時半出発、木曾殿山荘前からいきなりの急登が続く、標高差にして380m弱、その先、空木岳山頂(2864m)に至るまでに、岩場の多いピークをいくつか越えるが、何だか、北アルプスを彷彿させるような、スリリングな岩場の連続だった。空木岳山頂に着いた時にはガスが広がり、展望が殆ど無かったが、念が通じたのか、その後次第にガスが取れ、南の南駒ヶ岳(2841m)、特に、東斜面空木平のくぼ地に広がった素晴らしい紅葉には、本当に感動した。眼下の駒峰ヒュッテに下る頃には、ガスが完全に取れ、空木平の紅葉の先に広がる白く輝く雲海、さらに遠く八ヶ岳や南アルプスの名峰に富士山等々、シルエットになって連なっている名峰群に、久しぶりに感動して、いつまでも見ていたかった。さらに、北に目を向ければ、宝剣岳…檜尾岳…熊沢岳…東川岳と、昨日延々と歩いてきた稜線が見えて、何だか感慨深いものがあつた。駒峰ヒュッテ(避難小屋だが凄く奇麗)前テラスから仰ぎ見た空木岳、その斜面に広がる紅葉。また、駒峰ヒュッテから20分くらい下った所に、デンと座ってる駒石、近づけば巨大な岩塊だ。岩の上に登った所を、Yリーダーが遠くからデジカメで撮ってくれた、誰だか分からないが、岩の大きさがよく分かる。さらに下山が続き、小地獄・大地獄、マセナギ、ようやく池山小屋近くの水場でコーヒータイム。今回の山旅は、適時Yリーダーの温かいコーヒーが出て、皆で美味しくいただいた。木曾殿山荘を出発して8時間余り、今日もヨレヨレになったが、午後2時前駒ヶ根高原スキー場駐車場に無事到着。民宿に行く前に、早太郎温泉「こまくさの湯」で、長旅の疲れを流した。民宿「天山」は当時繁盛したのであろう、有名人の色紙と、古い民具等がたくさん並べてあり、天井からも多くの古物が吊るされていた。二間続きの部屋に男4人、贅沢。

9月29日(日) 晴れ 帰郷

民宿「天山」の朝食が7時、帰り際におばあちゃんから、思いがけずお土産(葡萄)まで頂き、同45分駐車場出発～駒ヶ根IC～養老SA～福山西SA～宮島SA～防府東IC～駅前レンタカー防府営業所に17時45分到着。10時間走って暗くなる前に到着したが、中央アルプスは遠かった。木曾駒ヶ岳はロープウェイを使えば、あっという間に2956mの山頂に立てる。迫力満点の宝剣岳や、木曾駒ヶ岳山頂からの展望も文句なしにいい。が、何だか個人的には、空木岳に多に魅了された。ただ、空木岳には、駒ヶ根高原スキー場から登っても、標準コースタイムで8時間以上要する、奥深くなかなか手ごわい山。今回、木曾駒ヶ岳～空木岳縦走に参加させていただいて、本当に良かった。3日間天候に恵まれ、事故や怪我もなく、予定通りの山行を終える事が出来たが、2名の女性、Mさん、Mさんの健脚ぶりには感心した。また、計画から手配等に奔走されたYリーダー、経験豊富なKさん、いつも雰囲気のをまかせていたTさん、皆さんには心から感謝申し上げたい。